

本年度の第1回学校運営協議会を、6月5日(水)午後2時より足助高校にて開催いたしました。愛知県教育委員会より12名の方に学校運営協議会委員として委嘱していただき、協議会では次のような報告、協議を行いました。

- ①学校運営に関する基本的な方針の承認
- ②学校運営協議会及び足助高校の令和5年度 of 取組
- ③令和5年度足助高校コミュニティファンド会計報告
- ④足助高校の活動方針
- ⑤観光ビジネスコース及び探究活動の取組
- ⑥魅力化に向けた方策

以下は、各委員からのご提言です。中山間地域とともに歩む「足助高校」として、今年度も魅力ある学校への取組を推進いたします。

令和6年度第1回学校運営協議会 提言・意見交換 6/5(水) 14:00～15:30

於 地歴公民科教室

<学校方針>

上沼校長 Change・Act・Think を Enjoy できる学びの実現を目標に、
学びの改革を実践していく。

<会計報告>

足助高校同窓会長：鈴木会長
ファンドを外に設置し事業を展開している。同窓会費と市の援助で
運営ができています。

<提言>

愛知県観光局局长：武田顧問
観光科に向けて、今後のプログラムの充実と生徒の育成に期待している。

足助交流館長：宇和佐顧問

地域の祭りなどの行事を通じて、生徒との活動を増やしていきたい。

高等学校教育課：浅井主事

観光科に向けての努力の継続に期待している。寮については、耐震の
面で使用は難しい。下宿で協力を依頼していく形が現実的である。

あいち学び推進課：伊藤主任

取り組みの成果を、積極的に情報発信していく。下宿について、地域住民
との議論が必要である。

三州足助公社社長：岡村委員

足助の歴史や文化・伝統などを生徒と一緒に学び、観光事業に繋げて
いきたい。

足助支所長：花木委員

県と調整しながら、生徒の成功体験に協力していきたい。

みよし市教育委員会：山内氏

小原地区との連携も模索していただきたい。

足助まちづくり協議会代表：三宅委員

空き家利用による下宿が住民減の状況で実施できるのか、議論が必要である。

地域学校協働活動推進員：梶さん

山間地域の中心である足助地区のこうした取り組みが、他地区にも広がっていくとよい。

愛知県観光局局長代理：渡邊アドバイザー

観光ビジネスの活動を積極的に発信すべき。県としても、広報面で支援していきたい。

おいでんさんそんセンター：戸田委員

観光科として特色ある学校であるとともに、地域に根差した普通科の学校であってほしい。選択幅のある高校がよいのでは。地域の活性を視野に入れた空き家利用の下宿募集ができればよいのだが。

足助高校 PTA 会長：松井委員

寮・下宿については、地域にとって留学目的以外のものであれば、行政と協力して議論を進めていく必要がある。

足助高校 PTA 前会長：関原委員

足助内でもバスが通っていない地区があり、通学面での整備が必要。

豊田市立旭中学校長：後藤委員

授業を参観し、卒業生の成長に感動した。

足助観光協会会長：田口副会長

足助観光協会が脆弱な組織であるため、生徒との活動がうまくできず残念である。

足助高校同窓会長：鈴木会長

生徒からの SNS を使った情報発信があってもよい。下宿については、他の地区での受け入れも依頼したほうがよい。